

神流川 丸岩ボルダー

2017.9.6 rctK

昔10年以上前になるが、他の岩場へのついでに訪れて蛞蝓岩(今回検索で名前を知る)と丸岩のハング帯の下部をちょっと登ったことがある。その後は全く行かなかったが、登り残したラインも沢山あったので、今夏、実家への往復の途中に訪れてみた。

このボルダーはよく目立つ存在ではあるが、群馬県には他に何か所も魅力的なボルダーエリアがあり、丸岩がこの地域の景勝地で原則禁止の状態でもあるためか、全くと言っていいほどボルダラーは訪れていないようである。今回のトライでは未解決課題が何本か残ってしまったが、やはり夏季の暑い時期のトライは汗ばんで厳しいものがある。また涼しい時期に機会を見てトライしてみようと思っているが、取り敢えず、まとまった課題数が登れたのでここに紹介したいと思う。

トポ等については、「クライミングジャーナル No.31」に紹介があるとのことだが、手元にないので、どの岩が対象であるのか、また、課題のラインや課題名なども分からない。岩名や課題名などを便宜上適当に付けたが、もともとの名前があるならそれに従いたい。

ネット上の情報としては、「猫の森の登攀道の My climbing note」(http://catsforest.air-nifty.com/climbing/my_climbing_note/index.html)に周辺のボルダーの紹介があり、YouTubeでは、下流の小平地区にある「赤岩ボルダー」の動画がアップされている。

アクセスは車利用が良い。東京方面からは、志賀坂峠を越え、R299からR462に合流したら右折し数分で丸岩の標識のある駐車スペースに着く。ここは観光客や釣り師が利用できるスペースで、最近道路が整備され何台も置けるようになった。休日などは道路と並行ではなく、直角に駐車すると他のドライバーも駐車しやすいので、駐車車両が多い時は配慮した方が良い。

今回も登らせてもらったお礼にという訳でもないが、ボルダーの周りのゴミを回収した。河原にはまだまだゴミが散らかっており、駐車スペースからのポイ捨ても多い。きれいにした後に暫くしていくとまたゴミが散乱しているのにはまいってしまった。ただのポイ捨てではなく、道路から見えない下の藪の中まで投げ捨てるので困ったものである。外国人が日本に来てゴミがなくきれいでマナーがしっかりしているなどと言っているようだが、郊外の山の中はポイ捨てや不法投棄でゴミだらけである。ゴミを少しでも減らすことで、気持ちよく登り、地元への印象も良くしたいものである。

《丸岩エリア》

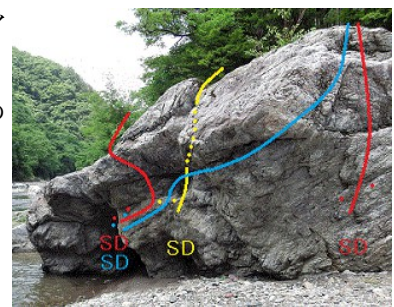
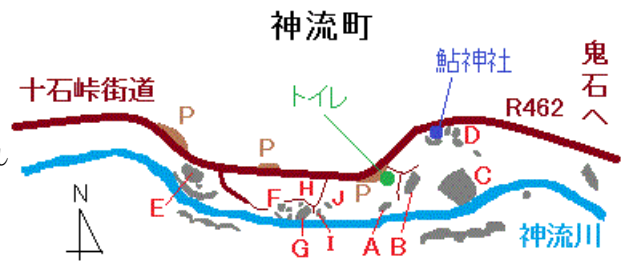
駐車スペースからの降り口には簡易トイレもあり、河原は広く明るく快適である。釣り人以外に、休日には川遊びやバーベキューの観光客も利用するので、トラブルの無いように配慮したい。

岩質はチャートで概ね硬くしっかりしている。

●A岩(仮称:山女魚岩)

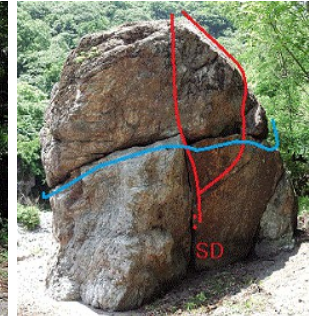
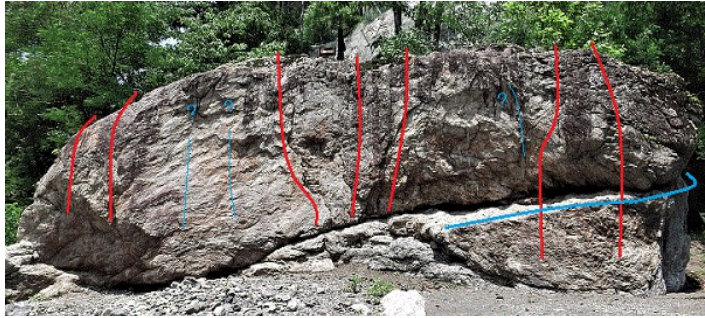
このボルダーは川沿いの小さな岩で、多分増水すると左側はトライできなくなると思われる。

設定課題は4本ほどだが、青のトラヴァースラインが長めで楽しめる。



●B岩(蛭蝮岩)

昔、易しいラインをちょっとトライしただけだったので、今回残っていた気になるラインをトライしてみた。新たに登ったラインも、特に難しいという範疇の課題ではない。



左側のスラブ状フェイスは、暑さで汗ばむコンディションも手伝って、全く歯がたたなかった。身体の故障や年齢の所為にもできるが、やはり実力不足が一番か。

道路側の苔の多いスラブの中央付近にも易しいSD課題がある。

この岩は丸岩本体ではないが、観光地であることを鑑み、あまり派手なパフォーマンスは控えた方が良くと思われる。

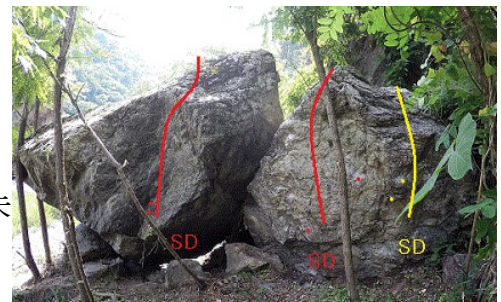
●丸岩(C)

巨大な15m程の大きなボルダーで、道路側に大きな全天候型のハング帯がある。丸岩自体は原則登攀禁止とのことだが、ハング帯下部でのボルダーは黙認されているという情報もある。様々な興味ある課題ができそうだが、岩の上には大明神を祭る小祠があり、ご神体として捉えるなら、やはりチョーク跡が目立つので、登らないほうが良いのかもしれない。登るか登らないかは各ボルダラー個人の判断に任せても良いとは思う。ハング左端の被ったカンテなどは、力あるボルダラーにとっては最高の課題となりそうだ。

●D岩(鮎神社下)

このボルダーは川側から見ると、下地が悪いただの岩ころだが、裏に回り込んだ所にちょっと遊べる課題がある。

この岩の他に、鮎神社直下に岩があるが、脆そうなので未トライである。また、この岩の前の川原にも小さな岩があり、課題が設定されているようである。



《石灰岩の大岩(名称不明)》

丸岩から国道を上流方面に300m程行った(戻った)ところにある石灰岩の岩峰状の大岩。道路横でありながら、川側のハング帯は静かにクライミングができる。目立った岩なので、多分今までに手を付けたボルダラーはいると思われる。はっきり言ってこの岩は登って良いか確認してないので、地元の方から何かしらの指示があったらそれに従っていただきたい。道路側下流の大ハングの下は道路工事の資材置き場になることもあるようだ。

駐車については、岩と道路を挟んで斜向かいの山側に広い駐車スペースがある。

●E岩(石灰岩の大岩)

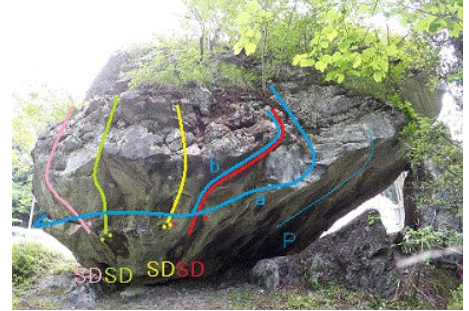
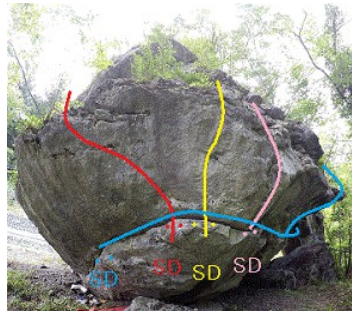
道路側は、薄被りの前傾フェイスで、道路工事により下地がきれいに整地されており、真にトライしてくれと言わんばかりだったので、トライさせていただいた。横を走る車のドライバーの目気になるところではある。

道路側の黄色ライン(課題名:Welcome to Kannamachi)は、手の届く一番上のホールドからスタートする。チョーク跡は見られなかったが、以前より下地が上がった可能性があるため、以前トライした人がいる場合は、一つ右下のホールドからのスタートだった可能性がある。終了は突起状の

ガバを取ったら上は土手なので、少しくライムダウンしてから飛び降りる。

左:道路側 中央:上流側 右:川側

上流側と川側には何本かの易しいSD課題と、ちょっとパワフルなトラヴァース課題がある。



川側の赤ラインの課題名は「コブラヘッド」で、易しいがダイナミックなムーヴが楽しめる。青のトラヴァースラインの a は課題名「神流川の戦い」、「コブラヘッド」に入る b の課題名は「スネークダンス」である。aの方が少し難しい。

なお、さらに右奥のハングに未解決の課題があり、相当難しいグレードになりそうなので、力あるボルダラーはトライしてみてください。

《葛岩エリア》

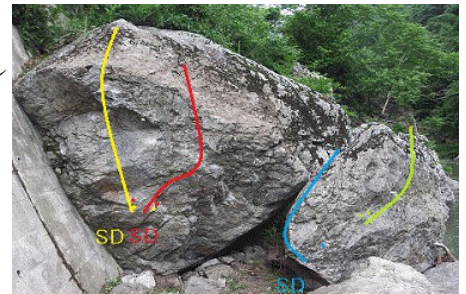
葛岩エリアは丸岩と石灰岩の大岩の中間にあり、夏場は周りの木の葉が茂るので道路から見えにくい。降り口の少し上流側の山側に駐車スペースがあるが、どちらかという丸岩の駐車スペースに置いた方がトイレもあり便利である。F岩はG岩とアプローチが異なり、石灰岩の大岩側から道を下っていくと下流側に見える。葛岩からも行けるが、最後はクライムダウンになるので、荷物が多き時はお勧めしない。葛岩へは、ガードレールを乗り越え擁壁を降りると直ぐである。擁壁は高くはなく、石垣状でホールド、スタンスが大きいので、特に問題ないが一応慎重に。

●F岩と川側の岩

F岩は葛岩エリアの最上流の擁壁の横にあるちょっとハングした岩。

SD課題が2本あり、同じスタートホールドから左抜けと右抜けがある。左のラインがテクニカルで面白い。

右の川側の岩は、ハングのSDとトラヴァースの易しい課題。



●G岩(仮称:葛岩)&H岩

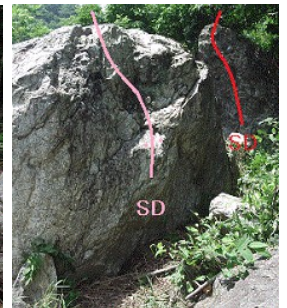
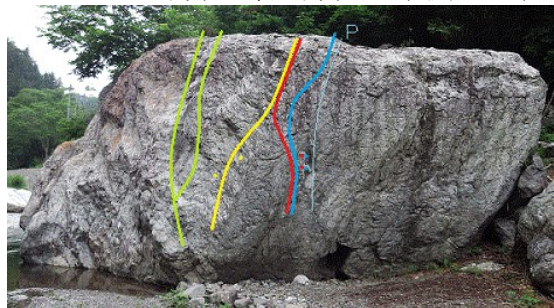
葛岩はエリアの中心にある大きな白い岩。下流側にきれいなフェイスを持った岩で、岩上が葛で覆われていたが、取り払ったのでスッキリした。水嵩が増すと取り付けなくなるので、渇水期を狙っていくのが良い。

この岩も立派なボルダーなので、多分以前トライされたことがあると思われる。

川岸寄りに課題があり、青ライン(課題名:葛根湯)がお勧めで、赤ラインのガバには出ないという限定だが、力不足でガバの右上の斜めのホールドを使い右上に抜けるというラインになってしまった。

赤ラインは青ラインと同じスタートで、ガバに出て黄色ラインと合流するライン。

左:葛岩 右:葛岩道路側とH岩



細水色ラインは、左向きでスタートし、フェイスのシンクラック状のフィンガーチップを使い登るラインで、トライしたがムーヴができず未解決。

道路側のフェイスにも易しいSD 課題がある。

H岩は葛岩の後ろにある岩峰状の岩で、易しいSD 課題が1本のみ。

●I岩&J岩

I岩は、上流側のハングを越える課題と、同じスタート位置から入って、下流側を岩上のホールド使用なしという限定で一番右まで抜けるトラヴァース課題がある。

J岩は、一番右下のカチホールドからリップを左上するSD 課題1本のみ。

左:I岩

右:J岩

